

追跡 レポート

あの質問のゆくえ 新規就農者 支援編

新規就農者支援は

新たに農業を行う担い手に対する支援、育成について、どのように取り組んでいくのか。(H27.9議会)

答
弁

白鷹町の多様な作物で幅広い研修ができるよう、新規就農者受入協議会を発足させ、受け入れ体制を整備していきたい。

どうなった



大きな夢を収穫しよう！



白鷹町で農業してみませんか！

新規就農相談 延べ312人

平成27年10月に、白鷹町新規就農者受入協議会が発足した。協議会は、町内の担い手農家14人が主体となり、町、西置賜農業技術普及課、JA山形おきたま等の関係機関がオブザーバーとなり構成された。

協議会の主な取組みは、首都圏で開催される新規就農フェアに参加し、就農希望者の相談に応じながら町の魅力を発信することである。これまで、フェアには合計18回参加し、延べ312人の就農相談を受けた。主な相談内容は、町内での短期・長期研修に関することである。

相談後、実際に受け入れ農家で研修を受ける事となった場合、協議会は就農者となるための総合的なサポートを行う。協議会発足後、短期研修を受けた方は30人、長期研修に移行した方は3人、長期研修実施後、新規に就農した方は1人である。

なお、現在、協議会の担い手農家は16人となり、長期研修の受け入れ農家は、協議会発足当初の2人から4人に増加した。

今後、さらなる体制強化を図り、新規就農者の獲得に取り組んでいく。

直接「移住」につながる大切な取り組み。各課連携し、総合的な視点でさらなるパワーアップを